

校内スポーツ大会が行われます。

スローガン：仲間との絆で新時代の栄光をつかみ取れ！！

テーマ曲：wanima「シグナル」

連休中には、いわき野球連盟会長旗争奪少年野球大会、市ジュニアソフトテニス選手権大会団体戦で優勝するなど、野球部やソフトテニス部の見事な活躍がありました。各部とも中体連に向けてさらに頑張ってもらいたいと思います。現在、本校では5月16日（木）に行われる校内スポーツ大会に向け、学級が一致団結して練習に一生懸命取り組んでいます。応援よろしくお願いたします。

<生徒会の目指す生徒の姿>

5月9日（木）の生徒会総会で示された前期生徒会目標、「我草中生宣言」を紹介します。

【前期生徒会目標】

- 元気なあいさつを交わそう！
- 学年を越えて、生徒同士が交流しよう！
- 笑顔あふれる学校（木交）にしよう！

交

※目標を一字で表すと「交」です。

「草中生一人ひとりの活躍を期待しています！」

<我草中生宣言>

- 一、我ら草中生は、誰にでも大きな声であいさつをし、人とのつながりを大切にします。
- 一、我ら草中生は、はっきりと大きな声で元気よく返事をします。
- 一、我ら草中生は、草中生としての誇りを持ち校歌を大きな声で歌います。

《 放送朝会(5月13日)の内容【みんなちがって、みんないい】 》

「私と小鳥と鈴と」金子みすゞさんの詩です。それぞれには良いところがあって、その良さを理解することの大切さを感じる心温まる詩だと思います。

金子みすゞさんは、明治36年山口県に生まれ、大正末期から昭和初期にかけて、26歳の若さでこの世を去るまで、「こだまでしょうか」「大漁」など500余編もの詩を綴って活躍した童謡詩人です。

この詩の題名は、「私と小鳥と鈴」ではなく最後に「と」が入っています。みなさんは、この「と」の後に何が入ると思いますか。考えてみましょう。… 「あなた」とか「みんな」とか「仲間」、「友達」など相手を言う言葉が入るのではないかと考えています。

題名では、一番最初に「私」がありますが、自分に重点が置かれるように感じます。「私」は「私でいいんだから」と始めてしまうと、自分が中心となって、ともすると自分の好き勝手でもいい、人をいじめても、傷つけてもいいなどと、自分中心の眼差しになってしまうことにつながりかねません。でも、題名で一番最初にあった「私」が、後になると一番後に来て、書いてはありませんが、「私」よりも前に「あなた」「みんな」「仲間」「友達」がきています。相手に重点が置かれていると感じます。「あなたがいて私がいる。あなたと私、どちらも大切。」だから「みんなちがって、みんないい」という言葉が生まれてくるのだと思います。

金子みすゞさんの眼差しは、「あなたと私」で、「あなた」は「あなた」でいいのが最初です。だから、「みんなちがって、みんないい」は、自分自身に使う前に、「あなたは、あなたでいい」「あなたが大切ですよ」と言うように、まず相手の方に向かって使う言葉なんです。

世の中の人、草野中にいる人は、誰一人同じ人はいません。顔や姿など外見ばかりでなく、性格や心の感じ方、思いもみんな違ってます。でも一人ひとりみんなが大切です。「あなた」「みんな」「仲間」「友達」など相手をよく考えて、「みんなちがって、みんないい」と認め励まし高め合うようにしていくことで、いじめなどは無く、楽しく生活しやすい草野中学校になっていくのだと思います。それがスローガンにある『絆を深め、共に育つ学校』につながっていくこととなります。

私と小鳥と鈴と

金子みすゞ

私が両手をひろげても、
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私からだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

